

普及だより ふじつ

第103号

発行・編集

杵藤農林事務所

藤津農業改良

普及センター

TEL0954-62-5221



『きれいに咲くバラをお届けしたい！ ～品質にこだわり続ける若手バラ農家～』

田中 慎一さん（36歳）

太良町の田中慎一さんは、家族とともに毎年およそ50万本のバラ切り花を生産されています。27歳で就農されましたが、就農前の9年間は九州や関東の花市場・花屋に務め、仲卸や販売の経験を積まれています。その際に、蕾のまままで終わってしまう咲かないバラを目の当たりにされ、「きれいに咲くバラをお届けしたい！」とバラの選花作業に細心の注意を払われ、消費者目線での生産に取り組まれています。

太良町は、全国でも有数のバラ産地です。田中さんは、FINE ROSE出荷組合（JA杵藤エリア）の一員として、先進地視察や研修会に参加する等、積極的に活動されています。就農当初からオランダ式の切り上げ栽培を導入され、

また、県内で初めてヒートポンプや炭酸ガス発生装置などの環境制御装置を導入されたことで、常にバラを最適な状態に保つよう心掛けられています。H30年1月には、組合を代表してアメリカの商談会に参加され、自分たちが出荷したバラが海外でも大好評だったことが喜びや自信につながっているそうです。

H28～30年度は青年農業士として活躍され、県副会長を務めながら県内の若手農業者の育成、指導にも貢献されてきました。

これからも藤津地区の農業者を牽引する若きリーダーとして、田中さんの更なる活躍を期待しています！

農業士・青年農業士が認定されました

県では、農業技術や経営が優れ、地域のリーダーとして活躍されている方々を、農業士に認定しています。青年農業者の育成や就農への助言、地域農業振興のためのアドバイザーとして幅広い活動をされています。

また、自らの資質向上を目指し、将来の地域農業のリーダーとして活躍が期待される若手農業者の方々が青年農業士（第14期）に認定されました。

- ①氏名
- ②市町名
- ③主な経営

佐賀県農業士

★は本年度から新たに認定された農業士

13名



①佐々木慎一★
②鹿島市
③肥育牛、繁殖牛



①塚島信子★
②鹿島市
③酪農、加工



①中村清子★
②鹿島市
③ミカン



①小池学
②鹿島市
③ミカン



①平郁男
②鹿島市
③アスパラガス



①副島太★
②嬉野市
③茶



①古賀延江
②嬉野市
③米・麦・ストレリチア



①瀬頭茂芳
②嬉野市
③米・麦・大豆



①中島構治
②嬉野市
③酪農、加工



①三根由紀子
②嬉野市
③茶



①早津昌俊★
②太良町
③ミカン



①澤山直人
②太良町
③ミカン



①山口十美子
②太良町
③ユリ・ケイトウ

佐賀県青年農業士

7名



①林康介
②鹿島市
③米・麦、ミカン



①岡幸好
②鹿島市
③ミカン



①松本有希
②鹿島市
③ミカン、ブドウ



①井上憲治
②嬉野市
③茶



①田中宏
②嬉野市
③茶



①西田将人
②太良町
③ミカン



①針茂拓郎
②太良町
③ミカン

今年度、活動辞退された農業士の皆さま、これまで藤津地域の担い手育成や農村振興等にご尽力いただきありがとうございました。

- 平田勝巳氏（鹿島市）
- 橋川タツ子氏（鹿島市）
- 池田弘子氏（鹿島市）
- 田中政司氏（嬉野市）
- 秀島克博氏（太良町）

活動方針

平成から令和と移りかわり、藤津農業改良普及センターも新たな体制で動き出しました。

農業の担い手減少や高齢化の進行が進行する中で、中山間地域を中心とした耕作放棄地と鳥獣被害が拡大し、更には気象被害の頻発に伴う生産変動やTPP11、EPAなど国内外の課題を抱え、農業情勢は厳しい状況にあります。

この様な中、普及センターでは、「豊かな自然・磨き輝き次世代へつなぐ、藤津の農業・農村」を目標として管内農業の更なる発展と農村地域の活性化を図ります。

①次世代の担い手の確保・育成 ②マーケットインによる競争力のある農産物づくり ③県産農産物のブランド力向上と販路拡大 ④農業生産を支える生産基盤づくり ⑤佐賀の農村の魅力アップの5つを柱に、県重点プロジェクト3課題、地域課題7課題（内、今年度から新規に 1. いちごさんの栽培技術の確立 2. 温州みかん根域制限栽培の生産拡大 3. 経営力・技術向上によるキク産地の強化）を展開しています。

農家の皆さんや関係機関と連携し、普及活動を展開していきますので、今後とも皆様の御支援、御協力をお願いします。



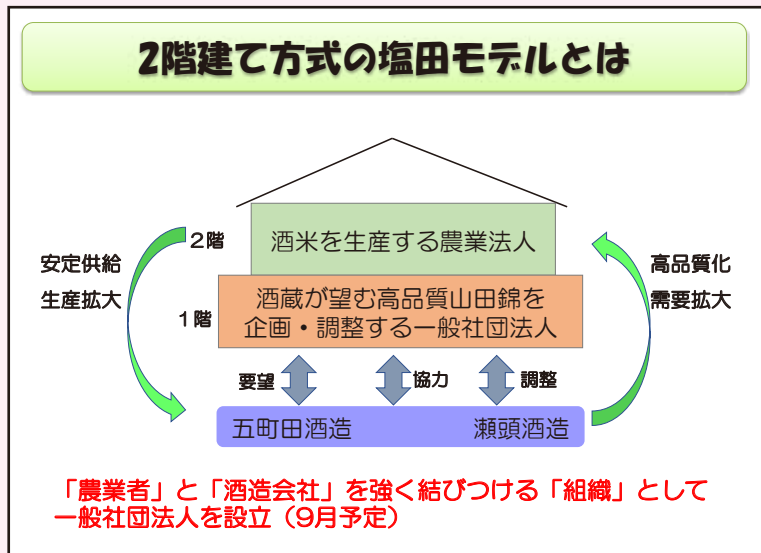
センター長
釘本和仁

二階建て方式の集落営農法人が活動しています

嬉野市塩田町五町田地区は、以前から地元の酒造会社と連携しながら、酒米の生産に取り組まれてきました。近年、農業者の高齢化が進み、生産基盤を維持向上させるため、平成27年度以降、営農組合の農事組合法人化が進められ、5つの法人が設立されました。

一方、法人では①酒造会社との委託作業（育苗、田植え、溝切）の調整②交換分合等の作付調整（大豆作付あとの圃場での酒米作付を回避）などが課題であることから、これらの調整機能を担う一般社団法人の設立が進められています。新たなシステムの構築は、継続的な生産管理体制を整えることであり、良質な酒米の生産拡大、ひいては酒造会社が望む良質な清酒の生産にもつながると考えています。

更に、塩田地区の農事組合法人は、生産性や収益性の向上に向け、①高性能機械の導入②農薬の大型規格資材や海外輸入肥料の活用による低コスト化③水稻の共同育苗④品目・品種毎の圃場の団地化⑤圃場の畦倒しによる大区画化、そして⑥新たな品目として露地野菜（契約栽培による加工用キャベツ等）の導入など積極的に進められており、地域の活性化につながっています。



みどり地区とまとトレーニングファームによる新規就農支援

2年目を迎えた鹿島市の就農支援研修施設「とまとトレーニングファーム」の活動を紹介します。

統合環境制御設備を備えた耐候性高軒高ハウスにおいて、とまと生産に夢を抱いている3名の後継者（写真）が日々技術習得に励まれています。知識の習得に加え実際就農するための農地確保や施設整備についての支援も行っています。

また、意欲ある研修生の発掘のために主要都市で開催される就農相談会へ参加に加え、今年度は、研修施設等の見学会・体験会を計画されています。とまと栽培に興味のある方はぜひJAさが杵藤エリア[みどり地区園芸指導課]北村課長代理（TEL0954-62-2145）まで問い合わせてください。



貯蔵みかん「今村温州」の栽培ポイント

「今村温州」は、浮皮果の発生が少なく、貯蔵後の果実品質も高いため、温暖化に対応した品種として注目されており、杵藤エリア地区では貯蔵用のブランド品種として導入が進んでいます。

普及センターでは、「今村温州」の果実品質・収量向上対策として、①ジベレリン処理による結実安定②シートマルチ被覆による果実品質向上③倒伏・枝折れ防止の3つのポイントをまとめたパンフレットを作成し、生産者の皆様へお届けしています。

「今村温州」の栽培ポイント

「今村温州」は、浮皮果の発生が少なく、貯蔵後の果実品質も高いため、温暖化に対応した品種として注目されており、JAさが杵藤エリア地区では貯蔵用のブランド品種として導入が進んでいます。

JAさが杵藤エリア地区 栽培指導課

項目	単位	値
結実率	%	128
果重	g	200
果径	mm	204
貯蔵率	%	100

「今村温州」における栽培管理の3つのポイント

- 結実安定対策
- 果実品質向上対策
- 倒伏・枝折れの防止対策

令和元年度の普及指導員です。よろしくお願ひします。



センター長 釘本和仁

技術副業々美 川副業々美

主査 高取由佳

技術師 井上大輔 (畜産)

技術師 安永良介 (畜産)

技術師 河野舞 (花)

副主査 高木智成 (茶)

技術師 成富恭平 (果樹)

主査 浅川将暁 (作物)

係長 稲富恵子 (経営)

係長 手塚敏輔 (野菜)

副センター長 西岡廣泰

係長 福田浩幸 (果樹)

主査 前田浩幸 (経営)

副主査 久間祥子 (果樹)

農業を始めたい人 気軽にご相談を!!

～就農相談受付中～

「農業を職業としてやって行きたいけど、どこに相談してよいかわからない。」と困っている方に朗報です。毎月第4火曜の午後に、鹿島新世纪センター3階で就農相談会を開催しています。まずは市役所・役場の農政担当課または普及センターへ連絡ください。

(注) 相談日については変更になる場合がございますのでお問い合わせ下さい。

(普及センターの連絡先)
TEL: 0954-62-5221
FAX: 0954-62-4181